Panasonic
PC ソフトウェア　WV-ASF950
V4.12 版　リリースノート

目次

変更履歴
ダウンロードファイルについて

変更履歴

Ver V4.12 (2026.11.13)

＜改善項目＞
- PHP の脆弱性 CVE-2026-109618/CVE-2026-109619 (PHP2Shell)への対応（PHP（V8.5.12-1）への更新）

Ver V4.11 (2022.12.13)

＜改善項目＞
- 人物情報一覧に表示された登録者の一部において以下の編集が行えない場合がある現象の改善。
  〈編集＞
  ①　編集ボタンを押しても編集画面が表示されない。
  ②　「照合する／しない」の変更が行えない。
  ＜発生条件（以下2つの条件が重なった場合）＞
  ・ASF950 が V4.10 で ASM300 が V5.10 以上の組み合わせの場合。
  ・過去 V2.20 以下で運用を行っていた場合。
- 人物情報一覧にてページ移動を行った場合、前のページで表示された一部の人が重複して表示される場合がある現象の改善。
  ＜発生条件＞
  ASF950 が V4.10 で ASM300 が V5.10 以上の組み合わせで、ページ移動を行った場合。
- 大きくバージョンアップ（例 V3.xx→V4.xx）を行うと、手動で登録した PC 再起動のタスクスケジュールが削除されてしまう現象の改善。

★2023/6/15 以降、ヘルプファイルの「アラーム感度」の推奨値に関する記載内容を以下に変更しています。
＜アラーム感度の調整＞
本システムでは、さまざまな環境での検証結果から顔登録におけるアラーム感度の推奨値をマスク無し：1.04、マスクあり：1.12 としています。
ご使用の環境や登録されている顔画像によって、その感度は変わってきますので、推奨値をベースに現場でアラーム感度を調整してください。

Ver V4.10 (2022.6.25)

＜機能追加＞
- アラーム発報した履歴に対して、登録人物のアラーム感度のみ調整する(0.01 あげる)選択肢を追加。
- WV-ASF950 のアラーム通知先設定に登録できる端末タイプにモバイル通知ツールを追加。
  ※「モバイル通知ツール」（V1.3.0 以降で対応予定）

＜改善項目＞

- アラーム対象となる顔画像を追加登録する人物を選ぶ際に、すでに登録済の人物を追加画像との類似順で 表示する機能の追加。（現在は、登録済の人物を名前順で表示）
- これまでは、V1.xx、V2.xx から、V4.xx への直接アップデートは不可能であったが、可能とした。

Ver V4.01 (2022.4.1)

＜改善項目＞

- 社名表記を"パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社(Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd.)"から"i-PRO 株式会社(i-PRO Co., Ltd.)"へ変更。

Ver V4.00 (2021.12.28)

＜機能追加＞

- WV-ASM300 の、顔検索モニターにてアラーム検索結果を、登録人物ごと・カメラごとに集計して CSV 出力できるよう改善。
- 登録人物に設定できるカテゴリーに応じて、アラーム通知先の端末の振り分けができるよう改善。
- 新グラフィックボード NVIDIA RTX A4000 に対応。
  ※従来の P5000、P4000、RTX5000、RTX4000 も動作可能です。
  ※グラフィックボードのドライバーバージョンは 471.68 以上が必要です。
- ASF950 のコンフィグツールにて、以下の AI カメラ X シリーズの「ベストショット機能」に対応。
  WV-X2571、WV-X1571、WV-X2533、WV-X2232

＜改善項目＞

- マスク顔や、低照度・逆光の環境での照合精度を改善。

Ver V3.20 (2021.7.2)

＜改善項目＞

- 機能拡張ソフトウェア(顔切り出し機能＜ベストショット＞)に対応し、顔照合を行うよう改善。
- 新規インストール、またはアップデートインストール時に、ASF950 のサーバー証明書の期限を更新するよう改善。
- Genetec 社入退室システムの登録者全員を含むグループ(All Card Holder グループ)を連携可能となるよう改善。
- 顔登録操作を累計で 20 回行うと、顔照合プロセスが停止し、最大 5 分間、顔画像の保存と、アラーム処理が動作しなくなる現象の改善。
  (Ver3.10 で追加した「Genetec Synergis と ASF950 で重複して実施していた人物情報の入力を Synergis 側に統一可能とした。」対応の影響) 2021/11/12 追記

Ver V3.12 (2021.6.24)

＜改善項目＞

- 本アプリケーションソフトの特定バージョン(V3.00～V3.11)において、顔検索データが、設定した保存期間内に 400 万件を超える通行量が発生した場合、保存期間を過ぎた画像データの削除が行われずに、HDD が枯渇し本アプリケーションソフトが停止する件の改善。

Ver V3.11 (2021.2.25)

＜改善項目＞

- WV-ASF950 の対応グラフィックボードドライババージョンを v425.31 以上に変更。変更に伴い、インストール時のドライババージョンチェック処理におけるインストール停止条件を v425.31 未満に変更。
- バックグラウンドで実行しているデータベースの最適化処理が、顔検索機能を妨げる場合があり改善。

Ver V3.10 (2021.1.14)

＜機能追加＞

- ＜Genetec Synergis 人物情報同期対応：2021/10/4 追記＞

Genetec Synergis と ASF950 で重複して実施していた人物情報の入力を Synergis 側に統一可能とした。（取扱説明書の「新規構築時の手順 >> コンフィグツールによる操作／設定（マスターサーバ） >> クライアント端末登録」の項に「【補足 2】Genetec Synergis 情報の同期設定」として記載）

Ver V3.00 (2020.12.3)

＜改善項目＞

- 通行量が多く、顔画像の受信枚数が制限値を超えた場合に、超えた分の受信画像を破棄する受信制限機能を追加。これにより顔画像処理をより安定稼働させるように改善。
- 破損リスク低減のため、データベースを変更。
- 登録顔検知モードにおける顔認証精度を改善。
- ベストショットの除外エリアの設定機能を追加。（最大 8 か所）
- インストーラーを小規模構成に対応。

Ver V2.32 (2020.8.3)

＜改善項目＞

- OS などの影響により、データベースや DB 管理プログラムが停止し、ソフトウェアの正常動作が継続できなくなった場合に、エラー通知ツールにエラーメッセージを表示するように改善。
- スレーブサーバーに接続されているカメラでアラームが発生した場合、I/O装置の制御が行えない現象の改善。
- カメラの割り当て変更後に年齢性別統計表示の操作をしたとき、「サーバーエラー」と画面に表示され、検索結果が表示されない現象の改善。

Ver V2.31 (2020.5.28)

＜改善項目＞

- 稀に Windows コマンドを正しく実行できず、本ソフトウェアを正常にシャットダウンできない場合があったため、Windows のコマンドが実行できたことを確認した後に本ソフトウェアのシャットダウン処理を実施するよう改善。
- 顔認証サーバーに異常が発生した場合、エラー通知ツールに次のメッセージを表示するように改善。
  ・顔認証ソフトウェアが停止しています。
  ・顔認証サーバーに接続することができません。
  ・データベース破損を検出しました。
  ・異常を検出し、サービスを再起動しました。
- 安全にシャットダウンを行うための「シャットダウン監視ツール」を誤って終了しないように「シャットダウン」のクローズボタン（X）を削除。また、「シャットダウン監視ツール」の起動状態を 1 分ごとに確認し、動作していない場合には、自動で起動するチェックプログラム処理を追加。
  ※「シャットダウン監視ツール」以外の操作でサーバーをシャットダウンした場合 は”データベースを破損”する恐れがございます。
- Windows 機能のデフラグ処理により、顔認証サーバーの応答が遅くなり、WV-ASM300 と顔認証サーバーとの間で通信異常が発生する場合があった。デフラグ処理を Microsoft 社製のデフラグツール（Contig）に変更し、デフラグ処理の最適化を行うことで通信異常が発生しないように改善。
  ※ASF950 v2.31 以降のバージョンをインストールする場合、事前にデフラグツール(Contig)のインストールが必要です。
  詳細は[こちら]の「■v2.31 以降へのバージョンアップの手順1」を参照ください。
- ソフトウェアの起動直後のみ登録検知エリアが、未登録検知エリアとして動作してしまうことがある現象の改善。
- 顔認証サーバーが既にインストール済の PC に、再度インストールツールを実行したとき、データベースに異常が生じる場合があったため、「エラー」を表示しインストールできないように改善。

Ver V2.20 (2020.1.7)

＜改善項目＞

- 顔認証サーバーがネットワークカードを 2 枚有する場合のシステム構成に対応。

- Windows10 環境において、高速スタートアップ機能が ON の設定時、本ソフトウェアが正常にシャットダウンできない場合があり、インストール時に高速スタートアップ機能を OFF にする処理を実施するよう改善。

Ver V2.10 (2019.11.5)

＜機能追加＞

- 新グラフィックボード対応。
  NVIDIA Quadro RTX5000 に対応。
  ※NVIDIA Quadro P5000 はドライバーバージョン V411.81 以上が必要です。

＜改善項目＞

- 登録顔一覧画面の「登録日時」の表示時刻について、いつ新規登録を行ったか判るように、"更新日時"から"新規登録日時"に変更。
  ※クライアント画面で表示が変更になります。
- 顔認識処理が停止した場合に、停止を検知し、自動復旧するように改善。エラー時には、顔認証サーバー動作確認クライアントに表示する。
  ※ヘルプファイルの「顔認証サーバー動作確認クライアント」の章を参照ください。
- 既知の脆弱性に対応。
- 社名表記を「パナソニック株式会社」から「パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社」に変更。

Ver V2.00 (2019.8.28)

＜機能追加＞

- 未登録顔検知機能追加。
  ・対応クライアント：WV-ASM300/ASM300W　V2.10
- サーバー構成メニューに I/O 装置を追加し、ネットワーク上の顔照合判定アラームをネットワーク外に通知するための変換機器に対応。

Ver V1.04 (2019.6.5)

＜改善項目＞

- 受信したベストショット画像データが正しく認識できない状態の場合、当該データ受信以降から顔照合処理が行われなくなる場合がある件について改善。

Ver V1.03 (2019.4.9)

＜改善項目＞

- 製品登録に関する GUI の改善。

Ver V1.02 (2018.12.27)

＜改善項目＞

- マスク顔の照合精度について改善。

Ver V1.01 (2021.12.13)

＜機能追加＞

- EXTREME カメラ(V2.00 以降)に対し、マスク顔検出 On/Off、検出レベルを設定できるように機能追加。
  対象カメラ:WV-S1131、WV-S1130V、WV-S1112、WV-S1111、WV-S1111D、WV-S1110V、WV-S2531LTN、
  WV-S6130、WV-S6110

＜改善項目＞

- カメラにベストショット送信先を設定する際に、カメラの送信先ポート番号の設定値が空になる場合がある件について改善。

Ver V1.00 (2018.9.21)

- 初版

ダウンロードファイルについて
---
asf950_v***J.zip は WV-ASF950 のソフトウェアです。
本ファイルは zip 形式の圧縮ファイルになっています。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍してください。